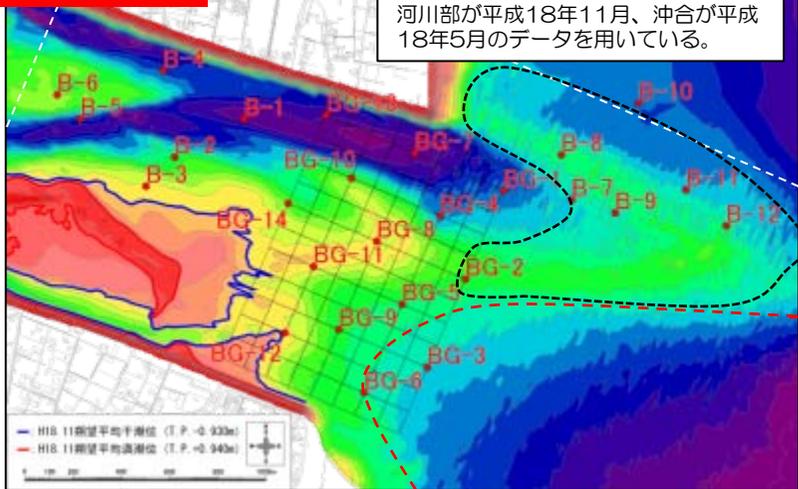


■底生動物のハビタット区分の検討④ ～ハビタットの区分化～

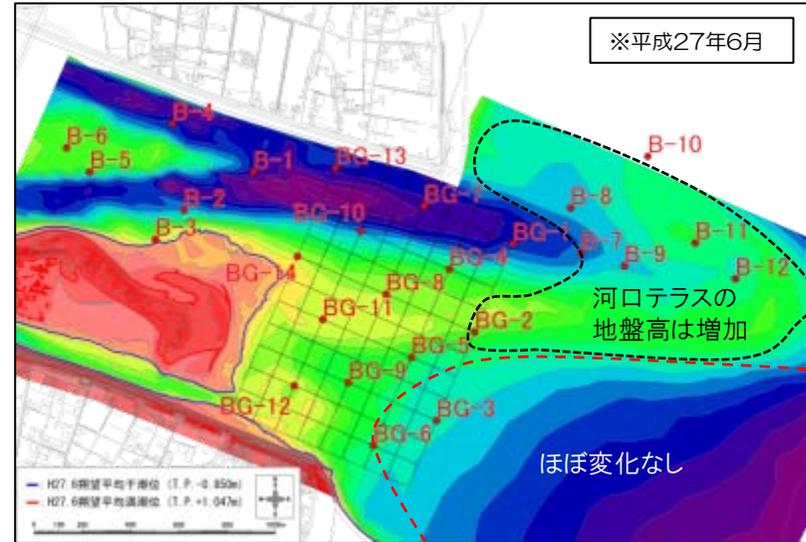
参考に、過去の論文と底生動物のハビタット区分の検討で用いた地形図、含泥率と地盤高の関係を示す。

過去の論文

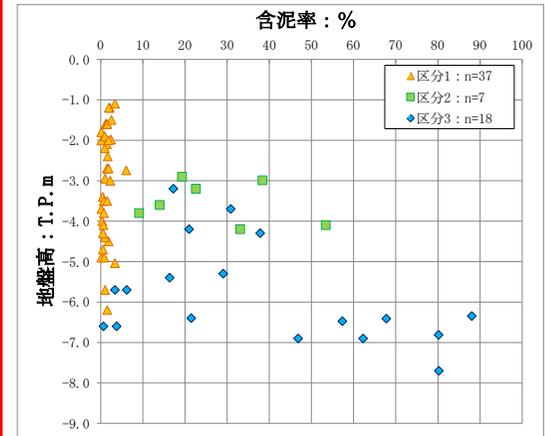
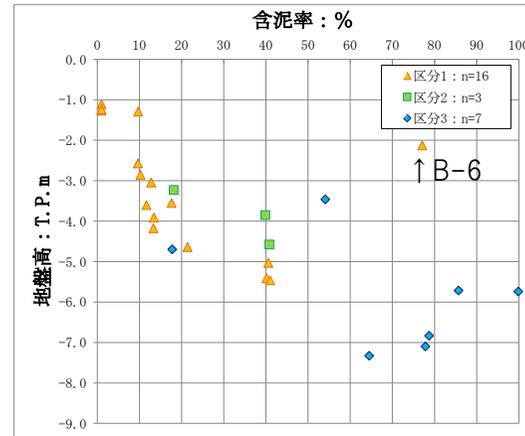
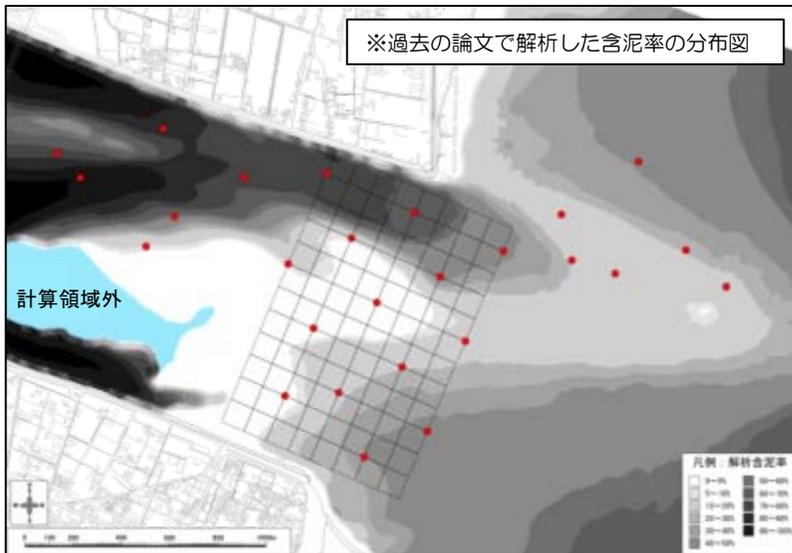
※過去の論文で解析に用いた地形図は、河川部が平成18年11月、沖合が平成18年5月のデータを用いている。



※平成27年6月



※過去の論文で解析した含泥率の分布図



■底生動物のハビタット区分の検討⑤ ～各ハビタット区分の指標種の選択～



各ハビタット区分の環境をうまく再現できる生物(指標種)を選択した結果を以下に示す。

■STEP.2：指標種の選択

以下のルールで指標種を選択した。

- ①過去3回の調査で連続して出現しており、個体数が多い種
 - ②種名が同定されている種
- (※ただし、下記のヒサシソコエビ科は本調査で一科一属のため抽出の対象とした)

■ハビタット区分1における共通種

番号	門	綱	目	科	学名	和名	重要種選定基準及びカテゴリー		先行事例 確認有無	H25.6	H26.10	H27.6	
							環境省	徳島県					
1	紐形動物				Nemertinea	紐形動物門			○	36	4	36	
2	軟体動物	二枚貝	マルスダレガイ	バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>	バカガイ			○	51	6	23	
3				フジノハナガイ	<i>Chion semigranulosus</i>	フジノハナガイ	NI		○	2	24	14	
4				マルスダレガイ	Veneridae	マルスダレガイ科				○	1	5	1
5	環形動物	コカイ	サシハコカイ	チヨリ	<i>Glycera</i> sp.			○	20	6	9		
6				シロカネコカイ	<i>Nephtys</i> sp.				○	12	7	6	
7	節足動物	軟甲	コカイ	ヒシソコエビ	Phoxocephalidae	ヒシソコエビ科			○	21	7	43	
8				ワシメシ	<i>Eurydice</i> sp.	ワシメシ科			○	1	1	1	
9				クノエビ	<i>Ogyrides orientalis</i>	クノエビ				○	2	15	2
10				スサモクリ	Callianassidae	スサモクリ科				○	3	3	1
11			モクスガニ	<i>Pseudopinnixa carinata</i>	ウモレマカニ			○	1	1	2		
6目11科11種							1	0	11	11	11	11	

ハビタット区分1は
 ・バカガイ
 ・フジノハナガイ
 ・ヒサシソコエビ科
 の3種に着目する。

■ハビタット区分2における共通種

番号	門	綱	目	科	学名	和名	重要種選定基準及びカテゴリー		先行事例 確認有無	H25.6	H26.10	H27.6
							環境省	徳島県				
1	紐形動物				Nemertinea	紐形動物門			○	5	1	16
2	軟体動物	二枚貝	マルスダレガイ	バカガイ	<i>Raetellus pulchellus</i>	チヨノハナガイ			○	1	12	12
3				環形動物	コカイ	スピオ	<i>Paraprionospio patiens</i>	シノブハネエラスピオ			○	1
3目3科3種							0	0	2	3	3	3

ハビタット区分2は
 ・チヨノハナガイ
 ・シノブハネエラスピオ
 の2種に着目する。

■ハビタット区分3における共通種

番号	門	綱	目	科	学名	和名	重要種選定基準及びカテゴリー		先行事例 確認有無	H25.6	H26.10	H27.6	
							環境省	徳島県					
1	紐形動物				Nemertinea	紐形動物門			○	27	4	46	
2	環形動物	コカイ	サシハコカイ	ヒシソコエビ	<i>Glycinde</i> sp.				○	39	1	13	
3				ハナオカカギゴカイ	<i>Sigambra hanaokai</i>	ハナオカカギゴカイ				○	19	1	12
4				オウギゴカイ	<i>Nectaneanthes oxyroda</i>	オウギゴカイ				○	10	12	4
5				シロカネコカイ	<i>Nephtys</i> sp.					○	25	18	49
6				スピオ	<i>Paraprionospio patiens</i>	シノブハネエラスピオ				○	2	8	3
7	節足動物	軟甲	コカイ	ヘビシヤコ	<i>Heteromastus</i> sp.				○	6	1	19	
8				クビナガスガメ	<i>Lysilla</i> sp.				○	1	1	7	
9				クビナガスガメ	<i>Appeliscia brevicornis</i>	クビナガスガメ				○	96	1	6
10			クビナガスガメ	<i>Melita</i> sp.	クビナガスガメ属			○	14	1	2		
11			クビナガスガメ	<i>Giantoides</i> sp.	クビナガスガメ属			○	6	2	2		
12			クビナガスガメ	<i>Crangon</i> sp.	クビナガスガメ属			○	2	1	1		
8目12科12種							0	0	10	12	12	12	

ハビタット区分3は
 ・ハナオカカギゴカイ
 ・オウギゴカイ
 ・シノブハネエラスピオ
 ・クビナガスガメ
 の4種に着目する。

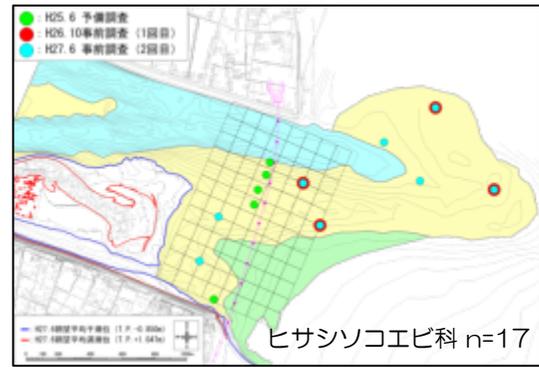
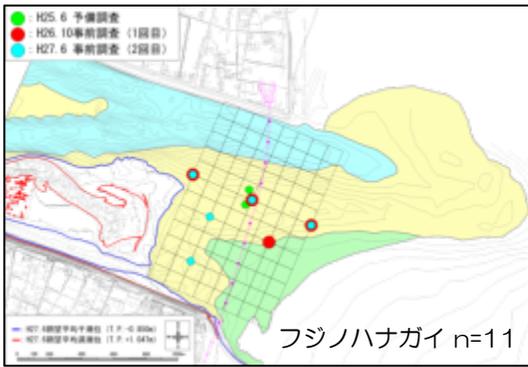
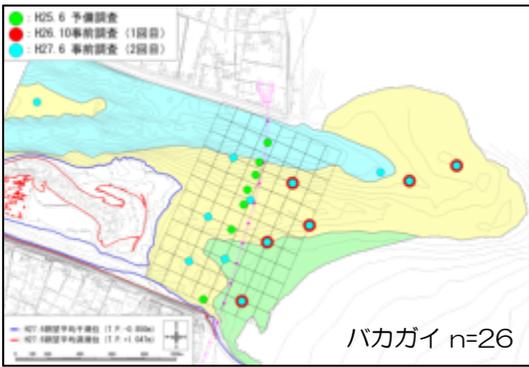


■底生動物のハビタット区分の検討⑥ ～選択した指標種の出現状況～

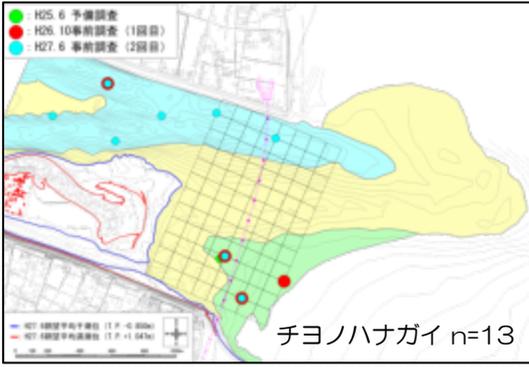


選択した指標種の出現状況を以下に示す。

ハビタット区分1



ハビタット区分2



選択した種の分布図から、各ハビタット区分を再現できそうな種が選択できたと考えられる。

ハビタット区分3

